

成田国際空港デジタルサイネージシステムのデザイン開発

2015年2月10日

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
生産技術本部 技術部 ソフトウェア技術課
米沢みどり

発表内容

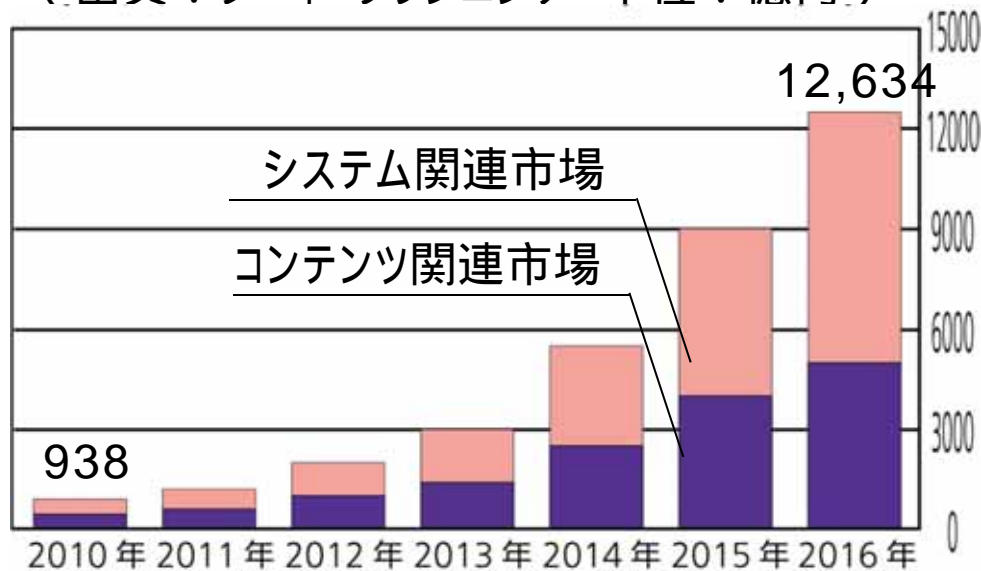
1. 自己紹介
2. 成田空港デジタルサイネージシステムの概要
 - 事業環境
 - 実証実験、製品化実績
 - 商談概要
3. デザインコンセプト
 - マスタープラン
4. 検索端末のインターフェースデザイン

2. 成田空港デジタルサイネージシステムの概要 -事業環境

市場環境

- ・2010年は約938億円の市場規模
- ・震災の影響で一時成長が停滞したが、市場のニーズは依然高く、2016年に1兆2634億円の見込み

2016年までのデジタルサイネージ国内市場
(出典：シード・プランニング 単位：億円)

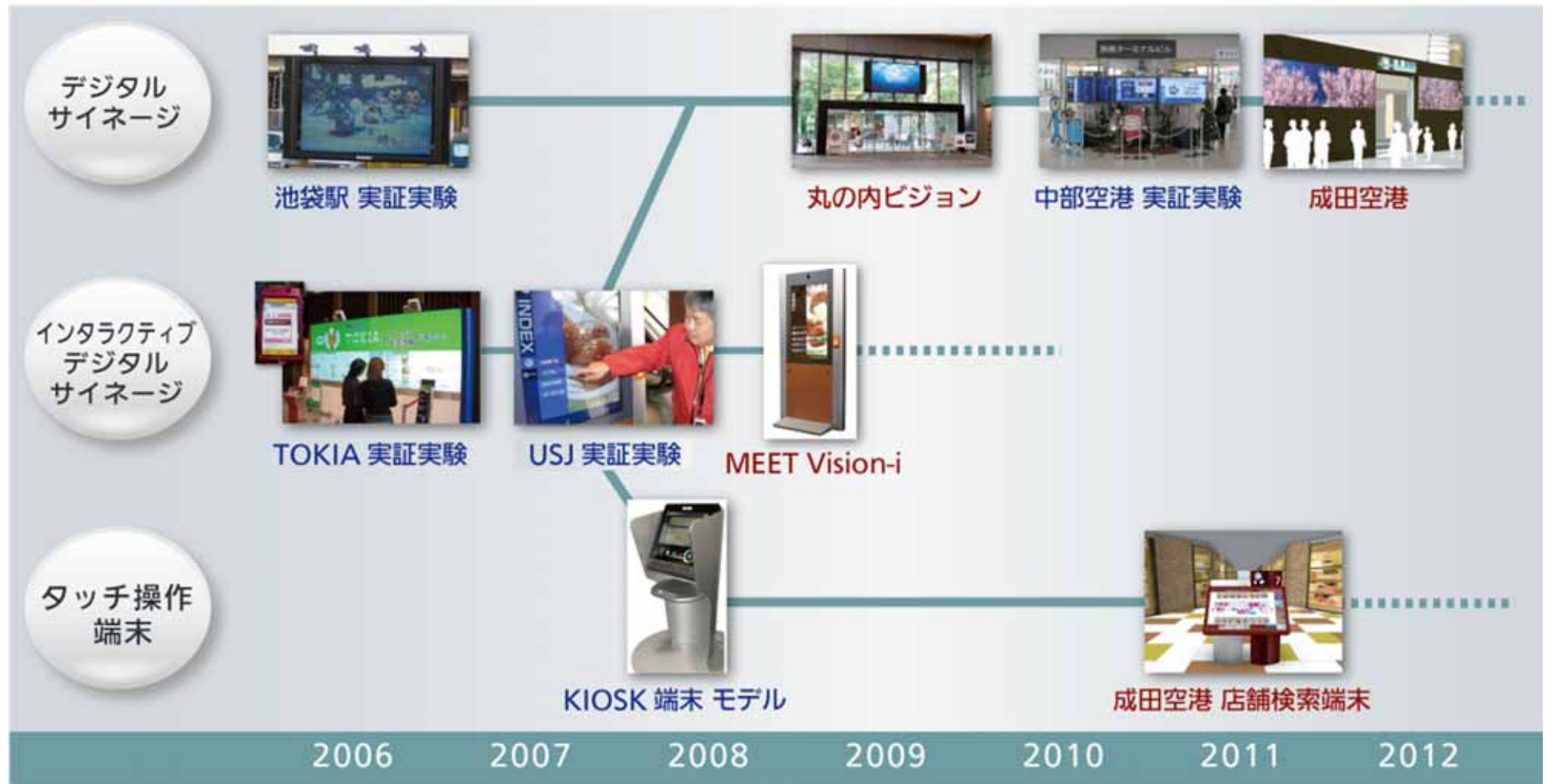


2. 成田空港デジタルサイネージシステムの概要 -実証実験、製品化実績

三菱電機は2006年よりデジタルサイネージの研究を開始

実証実験：TOKIA、USJ、中部国際空港など

- 製品開発：MOS、MEET Vision-i、丸の内ビジョンなど



2. 成田空港デジタルサイネージシステムの概要 商談概要

概要

- ・国内最大級（端末台数約100台、画面枚数約340面）のサイネージ商談

提案から受注までのプロセス

2011.1.14 RFP（提案要請）提示

「成田空港をご利用いただくお客様に対して適所で効果的に
分かりやすい情報提供及び広告による収入増を目的とする」
見積り金額：8億円以内

2011.3.7 提案書提出 10社が応募

- 震災の影響で一時中断、商談消滅の危機 -

2011.4.20 一次審査プレゼンテーション 3社に絞られる

2011.5.12 最終審査プレゼンテーション

2011.5.16 第一交渉権獲得（内示）

2011.8.2 契約締結

3. コンセプト マスタープラン

デジタルサイネージシステム整備工事提案書



3. コンセプト マスタープラン



3. コンセプト マスタープラン

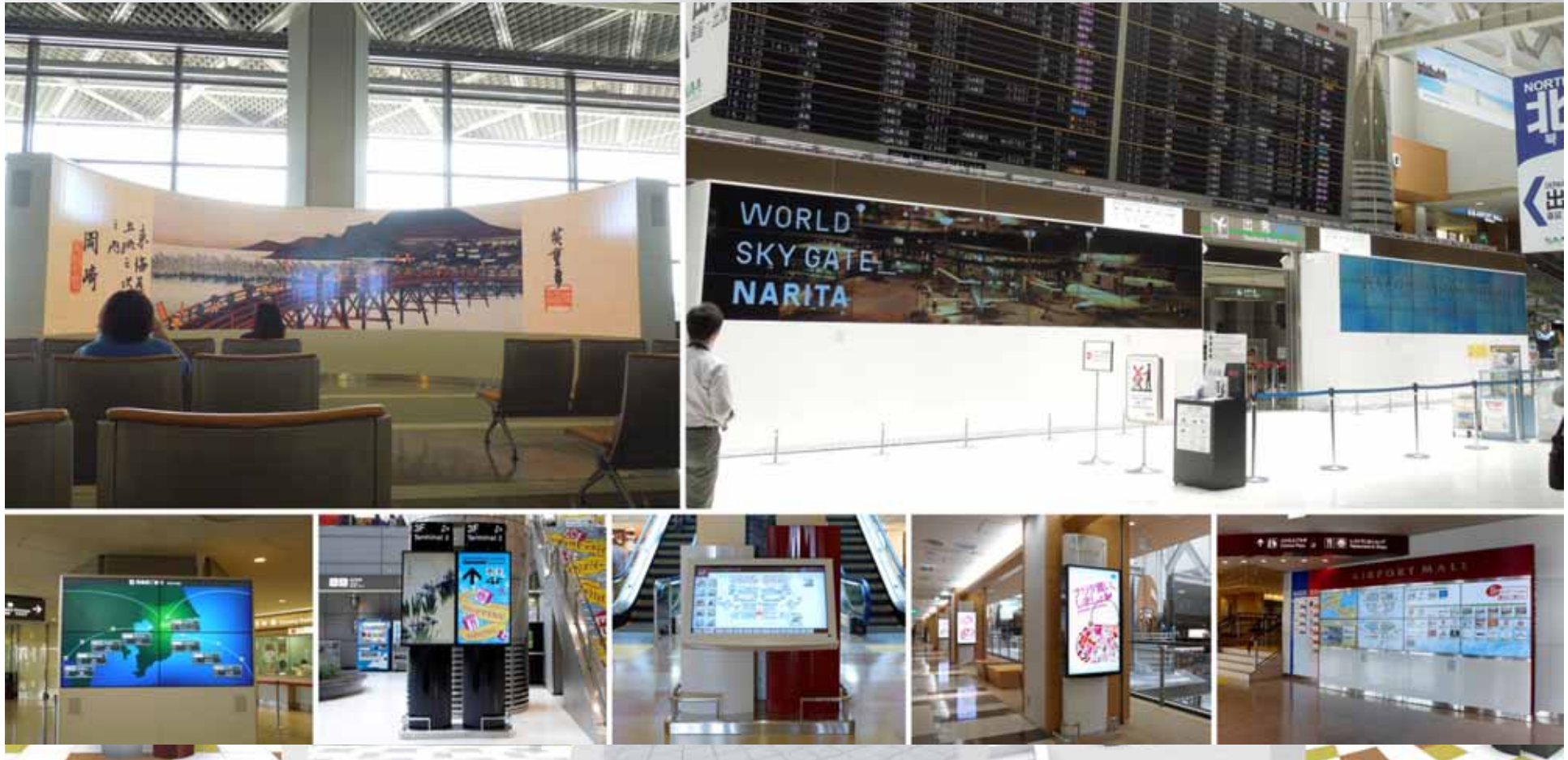


圧倒的な大画面映像で、期待を超えるメッセージを伝えます

3. コンセプト マスタープラン

NARITA FRONTIER VISION

～ 世界トップレベル、アジアのリーディング空港を目指して ～



日本的な「おもてなしの心」を伝えます

3. コンセプト マスタープラン

NARITA FRONTIER VISION

シームレス・ストレスフリー
Seamless Stressfree

- ユニバーサルデザイン
- 旅客の動線に応じた最適な情報提供

FRONTIER VISION を構成する
3つの KEY WORD

プラスバリュー
Plus Value

- FRONTIER GATE_NARITA
- 愛着を持っていただける おもてなし

フロンティア
Frontier

- 次世代空港のあるべき姿
- 三菱電機のご提供する先端技術

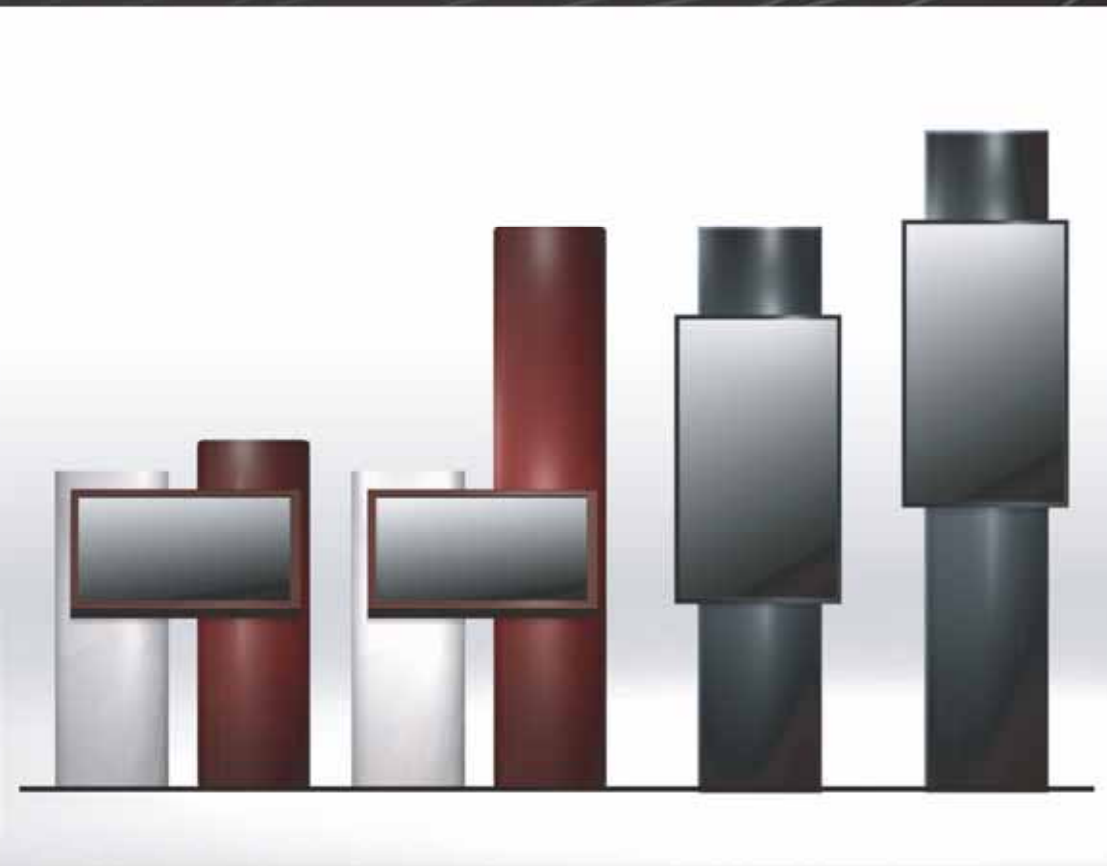
シームレス・
ストレスフリー
《旅客に最適な情報提供》

ユニバーサルデザイン

いつでも、だれでも使いやすい人に優しいデザインです

端末のデザインイメージを統一し、空港のシンボルとして印象づけます
空港全体で、お客様に優しく洗練された日本のイメージを演出します

- 日本の表玄関にふさわしく和のイメージを採用
シンプルながらも伝統と先進を調和させた「和モダン」テイストを取り入れます



- 端末に日本的なシンボルマークと数字を表記し、
空港の中の目印としても使えるようにします

雪月花



※ 端末設備はイメージです

4. 検索端末のインターフェースデザイン

